



自然と文化のまち北区

市 民 し ん ぶ ん

北 区 版

いきいき 北区

1
2022 / 15

❗ 注目記事

2面 “つながり”の力で進めるまちづくりを促進！使える「空間」をご紹介します！

4面 区内の市立小・中学校に、小説「京都船岡山アストロジー」をご寄付いただきました！

北区ホームページ
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kita/>

文化の
ココロ

新春特別版

北区を拠点に、日本が誇る様々な伝統文化や芸術の伝承・創造に活躍される方々を紹介するシリーズ企画「文化のココロ」。今回は、北区にお住まいの華道家元池坊・次期家元である池坊専好様に寄稿いただきました。



池坊専好作
いけばな「心から心へ」
花型：砂物
花材：コチョウラン、沖縄しゃが、アプライト、金明竹、とくさ、ヘリコニア、赤芽柳、エビデンドルム、スターリンジア、メリー、松、シーグレープ

令和四年

迎春



華道家元池坊 次期家元
北区未来につながる区民会議 顧問

池坊 専好

昔も、そして今も、“枯れた花にも華がある”と捉え、私たちは虫食い葉や枯れ枝をいけます。それもすべてのいのちが辿る一つの過程です。

仏前くげ供花から進化した立花りっかは江戸時代に大成しますが、残された絵図にはありとあらゆる状態の草木が、それぞれの個性に応じて用いられ、それは、あたかもオーケストラが一つのハーモニーを創り出しているようにも見えます。それぞれの個性や特質を最大限に生かし、互いに影響を与えながら、そこに調和が生まれているのです。それは、私たち誰もが自分らしく生きやすい社会を思い起こさせます。花をうまくいける技術だけではなく、伝統文化が現代にある意味はその哲学にも見受けられるのではないのでしょうか。

あけましておめでとうございます。

古くから日本では、新年を寿ぐものとして「松竹梅」がいけられてきました。これは、元々は中国の「歳寒三友さいかんさんゆう」から伝わるものです。能舞台の鏡板などにも描かれる松ですが、神の依代よりしろであり常緑であるところから不変や永遠を意味します。また若松から老松までそれぞれ趣が異なり、風情ある姿を見せてくれるのも魅力です。竹は素直に伸びる姿から、そして、梅は最も寒さの厳しい頃に馥郁ふくいくとした香りで咲き始めるところから尊ばれています。

人は、季節に応じて育ち咲く草木の姿に、私たちの暮らしもそうあってほしいと願いを込めていました。そこからは、日本人がいか
に草木をつぶさに見て、心を寄せてきたかがうかがい知れます。北区の北山杉、堀川通の色づいた銀杏、大学キャンパスの紅葉などを、四季を通して見つめ、その中で過ごすことによって、私たちは知らず知らずのうちに心の潤いや感受性を得てきたのではない
でしょうか。豊かな自然は大きな財産です。この世に、共に生きとし生けるものとして心を響き合わせてきたこと、そして、草木を美しい
と思う心の動きがいけばなの出発点なのです。

その一方で、決して華やかさや立派さ、変わらな
いことにのみ価値を置いてきたわけではありません。

新春のご挨拶

あけましておめでとうございます。

本年は、多くの方々のご協力を賜り昨年8月に策定した
北区基本計画を本格的に動かしていく年です。依然として
予断を許さない新型コロナウイルス感染症と向き合いなが
ら、一步一步着実に取組を進めてまいり所存です。区民の
皆様の暮らしを守ることとはもとより、「つながり」の力を最大
限にいかしたまちづくりを引き続き強力に進めてまいります。
変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。



北区長 武田 淳

問合せ 地域力推進室 企画担当 ☎432-1199